

科目	国語 I b (Japanese Language and Literature I b)		
担当教員	土居 文人 教授		
対象学年等	機械システム工学科・1年・後期・必修・1単位【講義】(履修単位)		
学習・教育目標	教育目標2		
授業の概要と方針	一般教養としての国語の基礎的学習をおこなう。現代文は、論理的文章(評論)と文学作品(詩・俳句)の読解法と鑑賞法を学習し、思考力・判断力・共感力・表現力を養う。また、コミュニケーションに関する知識・能力と漢字などの語彙的知識を身につける。古文は、日本の古典文学と漢文の学習をおこなう。古典文学作品の読解と現代語訳作成、漢文の読解を通じて日本の伝統文化についての理解を深める。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	評論・詩(短歌・俳句を含む)の基本的読解方法・鑑賞方法を習得し、その方法によって評論・小説を読解・鑑賞できる。		評論・詩(短歌・俳句を含む)を的確に読解・鑑賞できているか、中間試験と定期試験で評価する。
2	文意の明快な文章を書くための知識と方法を習得し、文意の明快な文章を書ける。		明快な文章を書くための知識と方法が身についているか、中間試験と定期試験で評価する。
3	古典日本語に関する知識を習得し、日本の古典文学作品を現代語訳できるようにする。		古典日本語に関する知識が身についているか、日本の古典文学作品を現代語訳できるか、中間試験と定期試験で評価する。
4	漢文に関する知識を習得し、漢文を現代日本語訳できるようにする。		漢文に関する知識が身についているか、漢文を現代日本語訳できるか、中間試験と定期試験で評価する。
5	漢検3級程度の漢字表現を使いこなせるようになる。		漢検3級程度の漢字表現の読み書き能力について、中間試験と定期試験で評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験100% として評価する。中間試験と定期試験の平均点を試験成績とする。100点満点で60点以上を合格点とする。		
テキスト	「現代の国語 改訂版」(筑摩書房) 「言語文化 改訂版」(筑摩書房) 「漢検3級 漢字学習ステップ 改訂四版」(漢字能力検定協会)		
参考書	なし		
関連科目	国語Ia, 国語IIa, 国語IIb.		
履修上の注意事項	なし。		

授業計画(国語Ⅰb)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	11世紀の日本語で表現された文学作品を学ぶ/漢字の練習	教科書「言語文化」を使用して,11世紀中頃の平安時代に書かれた日記の「更級日記」を読み,当時の日本語の文章と感性について学ぶ。漢検3級の漢字テキストを使用して漢字の練習をおこなう(漢字し,原則として毎週実施)。
2	11世紀の日本語で表現された文学作品を学ぶ	教科書「言語文化」を使用して,11世紀中頃の平安時代に書かれた日記の「更級日記」を読み,当時の日本語の文章と感性について学ぶ。漢検3級の漢字テキストを使用して漢字の練習をおこなう(漢字し,原則として毎週実施)。
3	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して,教科書の評論を読解する。
4	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して,教科書の評論を読解する。
5	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して,教科書の評論を読解する。
6	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して,教科書の評論を読解する。
7	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して,教科書の評論を読解する。
8	中間試験	前期中間試験を実施する。
9	漢文を学ぶ	教科書「言語文化」を使用して,古代の日本語・日本文化に影響を与えた漢文について学ぶ。
10	漢文を学ぶ	教科書「言語文化」を使用して,古代の日本語・日本文化に影響を与えた漢文について学ぶ。
11	詩の解釈と鑑賞	教科書「言語文化」を使用して,詩の解釈と鑑賞をおこなう。
12	詩の解釈と鑑賞	教科書「言語文化」を使用して,詩の解釈と鑑賞をおこなう。
13	俳句とは何か。俳句の解釈と鑑賞	プリント教材を配布して,世界で創作される俳句という文芸ジャンルの本質について学ぶ。教科書「言語文化」を使用して,俳句の解釈と鑑賞をおこなう。
14	俳句の解釈と鑑賞	教科書「言語文化」を使用して,俳句の解釈と鑑賞をおこなう。
15	俳句の解釈と鑑賞	教科書「言語文化」を使用して,俳句の解釈と鑑賞をおこなう。
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	後期中間試験および後期定期試験を実施する。	